

第 7 回呉市立美術館あり方検討委員会摘録

令和 6 年 1 0 月 2 9 日 (火) 13:30～16:10
呉市役所 8 階 802 協議室

【委員】

〔出席者〕

呉市立美術館 館長	横 山 勝 彦
京都国立近代美術館 館長	福 永 治
広島市現代美術館 館長	寺 口 淳 治
呉市教育委員会 教育部長	石 川 直 之
呉市産業部 副部長	兼 光 賢
呉市文化スポーツ部 部長	多 田 博

【概要】

○幸町地区総合整備検討有識者会議について（報告）

- ・有識者会議において 3 案で議論→青山クラブ一部保存の第 2 案が現実的ではないかとの方向で検討中（青山クラブ跡地の一部に新美術館を新設）
- ・桜松館についても建物は解体してホールの意匠等を部分的に残す方向で検討中

○「学校教育」との連携に関する取組について

- ・新美術館においても、学校との連携や教育普及事業は大切と考えており、継続していきたい。
- ・他館においても様々な取組事例はあるが、呉市ではまずは現在取り組んでいる「美術作品ふれあい事業（呉市内の小学 4 年生が美術館で鑑賞）」を充実・深化させていくのがよい。学校現場と美術館それぞれのニーズをすりあわせる必要がある。
- ・呉市には高等教育機関が多くあるので、新美術館建替を機にキャンパスメンバーズ（大学・短期大学・高等専門学校などを対象とした会員制度）の検討を行ってはどうか。

○新美術館の建設に向けて

- ・改正された博物館法の趣旨に沿い、新美術館においては美術館の基本的機能とともに、社会教育的機能や学校との連携を重視し、地域活性化の核となる必要がある。
- ・学校や関係団体（呉美術協会等）との連携は継続（充実）させていきながら、それぞれの役割や連携方法等を整理していく。
- ・貸館機能と常設展示は必須であること。
- ・幸町地区全体としてのボランティアガイドの活用について

＜主な意見のまとめ＞

A 幸町地区総合整備検討有識者会議について（報告）について

- ・美術館の立場としては、ホール機能等必要な機能が整備されれば、今の方向性で問題ない考える。【横山委員長】
- ・青山クラブは忠実に残さなくても市民のイメージを残せば良いと思う。新美術館のレイアウト等はこれからだが、一定程度の方向性が見えたことは良かったと感じている。【福永副委員長】
- ・第2案で示されている青山クラブの一部保存の中にあるゾーニング案に、これまで美術館あり方検討委員会で協議した「美術館にあっても良い機能（カフェやショップ、多目的スペースなど）」が入っているので、重複しないように整理した方が良いのではないかと。【兼光委員】

B 学校教育との連携に関する取組について（各館における取組の報告等）

- ・呉市立美術館では美術作品ふれあい事業、職場体験、美術作品鑑賞出前事業、子ども図画作品展等【横山委員長】
- ・広島市現代美術館では小・中学生を対象に送迎バス運行し、アートナビゲーターが案内する等【寺口委員】
- ・京都国立近代美術館では学校による美術館を活用した学習や研究への支援、「びじゅつかんのお仕事たいけん！」等【福永副委員長】
- ・大和ミュージアムではふるさと文化探訪（呉市内の小学5年生が大和ミュージアムを館内見学）【兼光委員】
- ・ICT（タブレット等）を活用した出前授業の検討【石川委員】
- ・新美術館においても、これまでの活動実績や経緯等を含め、学校や関係団体等との連携は大切であると考えており、継続していきたい。【横山委員長】
- ・新美術館として学校との連携に力を入れていくのは良いが、何をどこまでやっていくかは考えるべきである。【福永副委員長】
- ・新美術館は市民利用、市民活動がキーワードになると考えており、その中で学校との連携は大切な要素である。何をどこまでやっていくかはあがあるが、まずは今取り組んでいる「美術作品ふれあい事業」の内容の充実・深化に学校と取り組む中で関係性を構築し、ニーズの把握等を行いながら次の展開に広がっていかば良い。【多田委員】

C 新美術館の建設に向けて

《関係団体（呉美術協会等）との役割や連携を整理していく》

- ・建替を機に改めて呉市，美術館，呉美術協会それぞれの役割を整理して，市美展を美術館がやるというのもいいのではないかと思います。また，蘭島文化振興施設や南薫造記念館との連携も考えていくべきではないか。

【福永副委員長】

《貸館機能と常設展示は必須であること》

- ・呉市立美術館の他に作品を展示する場所がないことや，乳幼児画展をはじめ，小・中・高校生の展覧会等も開催していることから，貸し館機能は外せない。

【横山委員長】

- ・入船山記念館・大和ミュージアムとの連携（スタンプラリーなど）を考えると，常設展の開催は必須である。【兼光委員】

《幸町地区全体としてのボランティアガイドの活用について》

- ・新美術館では，ボランティアの役割について整理をしていく中で，新たな役割を担うということもあると思う。幸町地区全体で考えても施設ごとのボランティアガイドということではなく，地区全体の回遊性や連携を意識したあり方を今後検討していく必要がある。【多田委員】